

第 43 回高知糖尿病チーム医療研修会（web 型研修）のご案内

謹啓、時下、皆様方におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

第 43 回高知糖尿病チーム医療研修会をご案内致します。

今回の教育講演は、細木病院 宮地 剛 先生から「循環器疾患と糖尿病 ～総論～」
また、細木病院 細木 信吾 先生から「循環器疾患と糖尿病 ～各論～」と題してご講演いただきます。

シンポジウムでは、県内各施設で糖尿病療養指導にご活躍の先生方の口述発表を予定しております。糖尿病治療、指導に興味をお持ちの医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士等多数のご参加をお待ちしております。

尚、本研修会は、日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会として<第 2 群>（糖尿病療養指導研修単位）1 単位を申請中です。

謹白

第 43 回高知糖尿病チーム医療研修会
幹事 三愛病院 中村 寿宏 先生

記

日 時：令和 3 年 11 月 7 日（日） 13：00～16：30

場 所：Web オンライン（zoom）での配信

対 象：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、保健師、
理学療法士、歯科衛生士、その他医療スタッフ

[講師プロフィール]

「循環器疾患と糖尿病 ～総論～」



宮地 剛 先生(細木病院循環器内科副部長)

循環器疾患と糖尿病には重要な関連があることは広く知られるところである。総論として、特に重要な心不全、動脈硬化性心疾患と糖尿病について述べたい。

糖尿病患者は慢性心不全のステージ分類でステージ A(無症状期)に分類される。糖尿病では心筋量増加や細胞外器質での終末糖化産物沈着が起り心不全を発症する。更に糖尿病患者は心不全の再発率が高いことが知られている。従って糖尿病は、心不全の原因であるとともに予後を悪化させる危険因子である。動脈硬化性疾患である虚血性心疾患にとっても、糖尿病は重要な危険因子である。急性心筋梗塞に対する迅速な緊急経皮的冠動脈インターベンション（PCI）は予後を改善させるが、その中でも糖尿病の罹患は増悪因子となる。糖尿病患者を有する慢性虚血性心疾患に対する血行再建術の選択肢は PCI または冠動脈バイパス手術となるが、CABG の周術期リスク、長期予後を十分検討し選択する。しかし、冠動脈が治療できたとしても前述の心不全や冠動脈以外の血管の動脈硬化は予防できない。

本講演では、循環器疾患の中での糖尿病の位置づけ、克服できてた分野と残された課題について考えていきたい。

「循環器疾患と糖尿病～各論～」



細木 信吾 先生(細木病院ハートセンター長、循環器内科部長)

本講演では、糖尿病を合併した循環器疾患患者の中でも特に虚血性心疾患にターゲットを絞って述べる。動脈硬化性疾患である狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患にとって、糖尿病は冠危険因子、予後不良因子として知られる。虚血性心疾患に対する治療として、経皮的冠動脈インターベンション（PCI）が台頭した。PCI の技術は日進月歩で進化し、これまで冠動脈バイパス手術でしか治療できなかった冠動脈病変が PCI でほぼ治療可能となっている。しかし糖尿病患者への PCI は、再狭窄やその後の総死亡、心筋梗塞、脳卒中発症を改善することはできていない。

例えば、糖尿病を合併する循環器疾患患者に対し様々な糖尿病治療薬のトライアルが行われてきたが、総死亡を改善させる薬剤は長らくなかった。2015 年に SGLT2 阻害薬が、心血管死・非致死性心筋梗塞・非致死性脳梗塞を合わせた 1 次アウトカム、心血管死、理由によらない死亡、心不全入院を有意に改善したことは大きな驚きを持ってとらえられた。

本講演では、循環器内科医の視点から、糖尿病患者に対する冠動脈治療、薬物療法、心臓リハビリテーションについて考えてみたい。

【プログラム】

- 13:00～13:05 開会挨拶
第43回研修会幹事 中村 寿宏 先生（三愛病院 医師）
- 13:05～14:00 **教育講演1** 司会 中村 寿宏 先生（三愛病院 医師）
「循環器疾患と糖尿病 ～総論～」
演者 宮地 剛 先生（細木病院 循環器内科副部長）
- 14:00～15:30 シンポジウム 「糖尿病療養指導の現状と実際」
司会 末廣 正 先生（高知高須病院 医師）
片岡 典代 先生（三愛病院 看護師）
- ① 森塚 亮太 先生（近森病院 薬剤師）
「当院の低血糖に対する取り組み」
 - ② 西内 智子 先生（高知大学医学部附属病院 管理栄養士）
「糖尿病教育入院における食物摂取頻度調査（FFQg）の活用」
 - ③ 前田 貴之 先生（高知大学医学部附属病院 理学療法士）
「糖尿病教育入院患者の特徴と理学療法士の関わり」
 - ④ 酒井 美枝 先生（三愛病院 看護師）
「当院における糖尿病入院患者への関わり」
- 15:30～16:25 **教育講演2** 司会 篠原 雅幸 先生（細木病院 医師）
「循環器疾患と糖尿病各論 ～各論～」
演者 細木 信吾 先生（細木病院 ハートセンター長
循環器内科部長）
- 16:25～16:30 閉会挨拶
第43回研修会幹事 中村 寿宏 先生（三愛病院 医師）

～研修会にご参加を希望される先生方へ～

1. 高知県病院薬剤師会会員以外の先生方

ご視聴いただける先生は、お手数をお掛け致しますが、以下二次元コードもしくはURLから必要事項をご選択の上お申込みください。二次元コードが読み込めない方は、下記アドレスより必要事項を記載の上ご連絡ください。

10月22日(金)までにご連絡をお願い申し上げます。

視聴URLをお送りいたします。※ 開催日前日にも再度URLをお送りいたします。

【登録用URL】 https://zoom.us/webinar/register/WN_CAExRzdwT6ev24m6Cwj2Vg



(二次元コード読み取りで参加フォーマットが提示されます)

2. 高知県病院薬剤師会会員の先生方

下記のWEB研修会システムを利用してご視聴いただきますようお願い申し上げます。
事前登録の締め切りは、**11月6日(土)まで**となっております。

高知県病院薬剤師会のWEB研修会システム専用URL

<https://iryoo.com/login/609>

連絡先：第一三共 濱松 hamamatsu.anzu.z4@daiichisankyo.co.jp

必要事項：ご所属名、職種名、ご氏名、取得予定の単位

○日本糖尿病療養指導士更新のための単位をご希望の方

・認定番号

○薬剤師の単位をご希望の方は、下記どちらかお選びください。

・日病薬病院薬学認定薬剤師制度

・日本薬剤師研修センター 認定制度（取得にあたっては、薬剤師免許番号が必要となります）

* ご希望単位に合わせてどちらか一方のご登録をお願いします。

日本糖尿病療養指導士更新ための単位及び薬剤師の単位をご希望の方へ

★単位取得にあたっては入室時間と退出時間のログで管理致します。

途中入退出などにより受講時間が不十分な場合、単位の発行ができませんのでご注意ください。

★当日は聴講の確認のため、会の開始直後、会の途中と会終了後にキーワードを提示予定です。

★単位はログや当日のキーワードを全てお答え頂き、交付条件を満たした先生方に後日郵送にて送付致します。

【その他の連絡事項】

1. 申込締切日 10月22日（金）
高知県病院薬剤師会会員の場合は、11月6日（土）

2. 当セミナーは、下記の研修単位取得することができます。

- ・日本医師会生涯教育講座（2単位）
- ・日本歯科医師会 生涯研修制度単位認定（8単位）
- ・日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修<第2群>1単位
- ・日本糖尿病協会登録医・療養指導医制度のための講習会
- ・高知県糖尿病療養指導士認定単位（4単位）
- ・日病薬病院薬学認定薬剤師制度（V-2 2単位） 申請中
- ・日本薬剤師研修センター 認定制度（2単位） 申請中

共催名：高知糖尿病チーム医療研修会
高知県糖尿病対策推進協議会
高知県医師会
高知県糖尿病療養指導士会
田辺三菱製薬株式会社
第一三共株式会社
公益社団法人高知県薬剤師会
高知県病院薬剤師会
公益社団法人栄養士会

後援：公益社団法人高知県看護協会
（社）高知県臨床検査技師会
公益社団法人高知県理学療法士協会
高知県歯科医師会